



2023年度環境 経営レポート

ニプロファーマ株式会社

埼玉工場

埼玉第1工場

埼玉第2工場

羽生工場

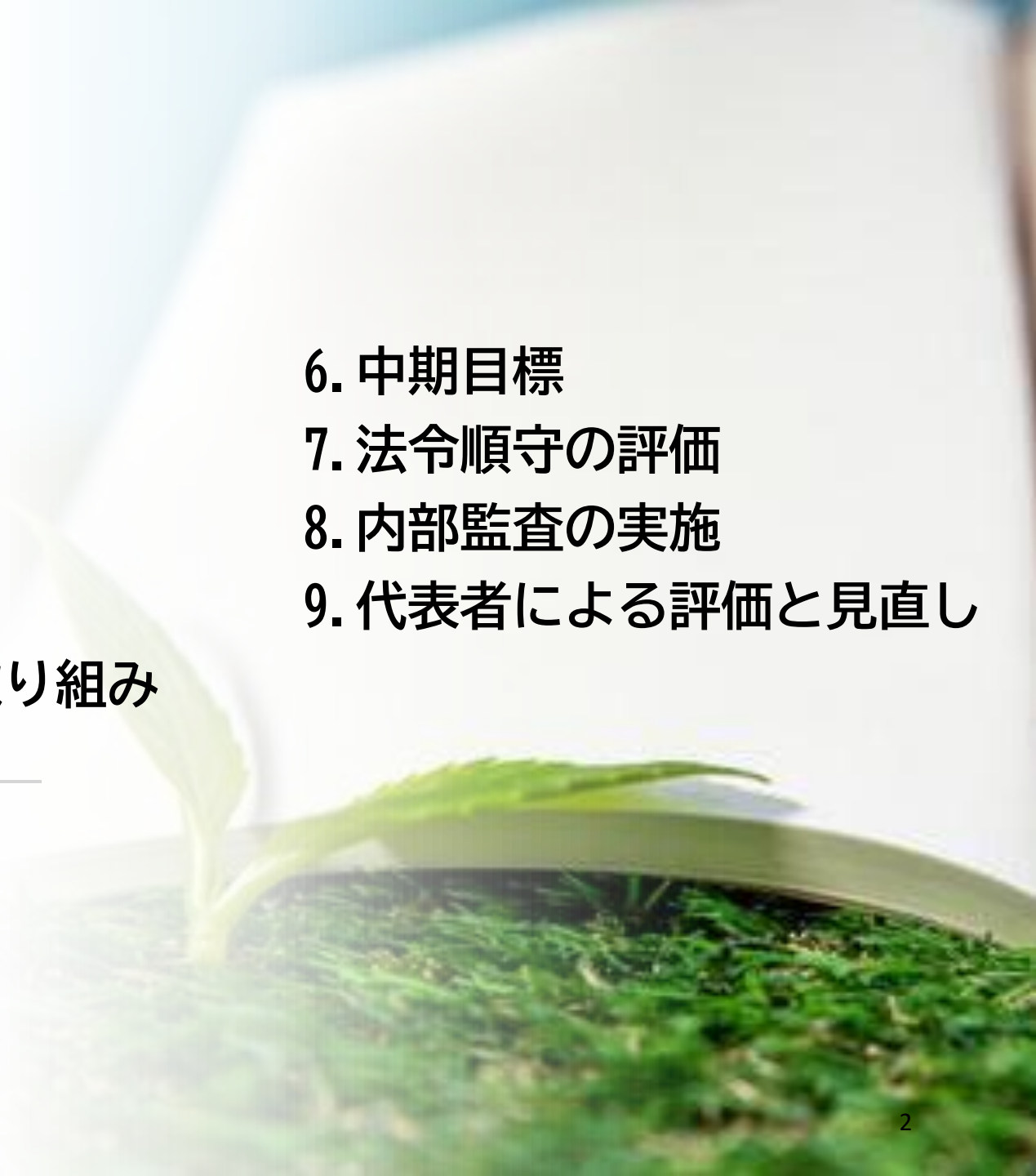
川越工場

対象期間：2023年4月～2024年3月

発行日：2024年12月5日



目次

- 
1. 環境経営方針
 2. 組織概要
 3. 事業所紹介
 4. 実施体制と役割
 5. 目標、実績及び取り組み
 6. 中期目標
 7. 法令順守の評価
 8. 内部監査の実施
 9. 代表者による評価と見直し
-

1. 環境経営方針

ニプロファーマ株式会社埼玉エリアの工場は、製薬会社としての事業活動を通じて、次の世代に住みよい地球と豊かな社会を残すために、高い倫理観をもって、以下の通り行動することを約束します。

1. 環境経営活動に伴う環境側面の把握及び環境影響評価を適切に実施し、環境への配慮と汚染の防止を推進します。
2. 環境経営活動に伴う関連法規、その他要求事項を順守し、高い技術とノウハウを以って環境マネジメントシステムによる継続的改善を図ります。
3. 全ての従業員及び当工場に関わる協力会社社員が、環境保全に対する認識と理解を深め、工場内のコミュニケーションを図り、環境活動を通じ働き甲斐のある職場づくりに努めます。
4. 環境経営活動において、工場が管理できる環境側面及び影響を及ぼすことができる環境側面の環境負荷を低減するため、以下の環境経営目標に取り組みます。

【環境経営目標】

- 1) 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します
- 2) 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます
- 3) 廃棄物排出量の削減及びリサイクル活動を推進します
- 4) 排水量（または水使用量）を削減します
- 5) 化学物質の適正管理に努めます
- 6) 生産活動の平準化に努め生産効率を向上させ環境負荷低減を図ります
- 7) 改善提案制度など改善活動を通じ環境負荷低減を図ります

ニプロファーマ(株) 埼玉工場
代表者

森口 将人

2024年10月1日 改訂

2. 組織概要

社名	ニプロファーマ株式会社
本社所在地	大阪市摂津市千里丘新町3-26
代表者	西田 健一（代表取締役社長）
従業員数	3,962名（2024年3月末日現在）
資本金	約87億円
事業内容	医療用医薬品の製造及び販売
事業所	埼玉工場、埼玉第1工場、埼玉第2工場、羽生工場、川越工場、本社、大館工場、伊勢工場、志紀工場、近江工場、鏡石工場、道修町分析センター
環境システム	EA21 埼玉工場、埼玉第1工場、埼玉第2工場、羽生工場、川越工場、志紀工場 ISO14001 大館工場、伊勢工場、鏡石工場

3. 事業所紹介

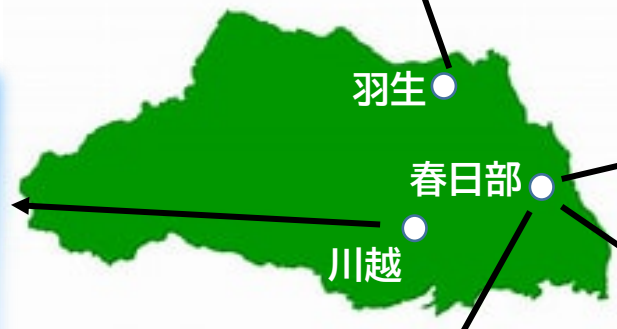


羽生工場



埼玉工場

川越工場



埼玉第2工場

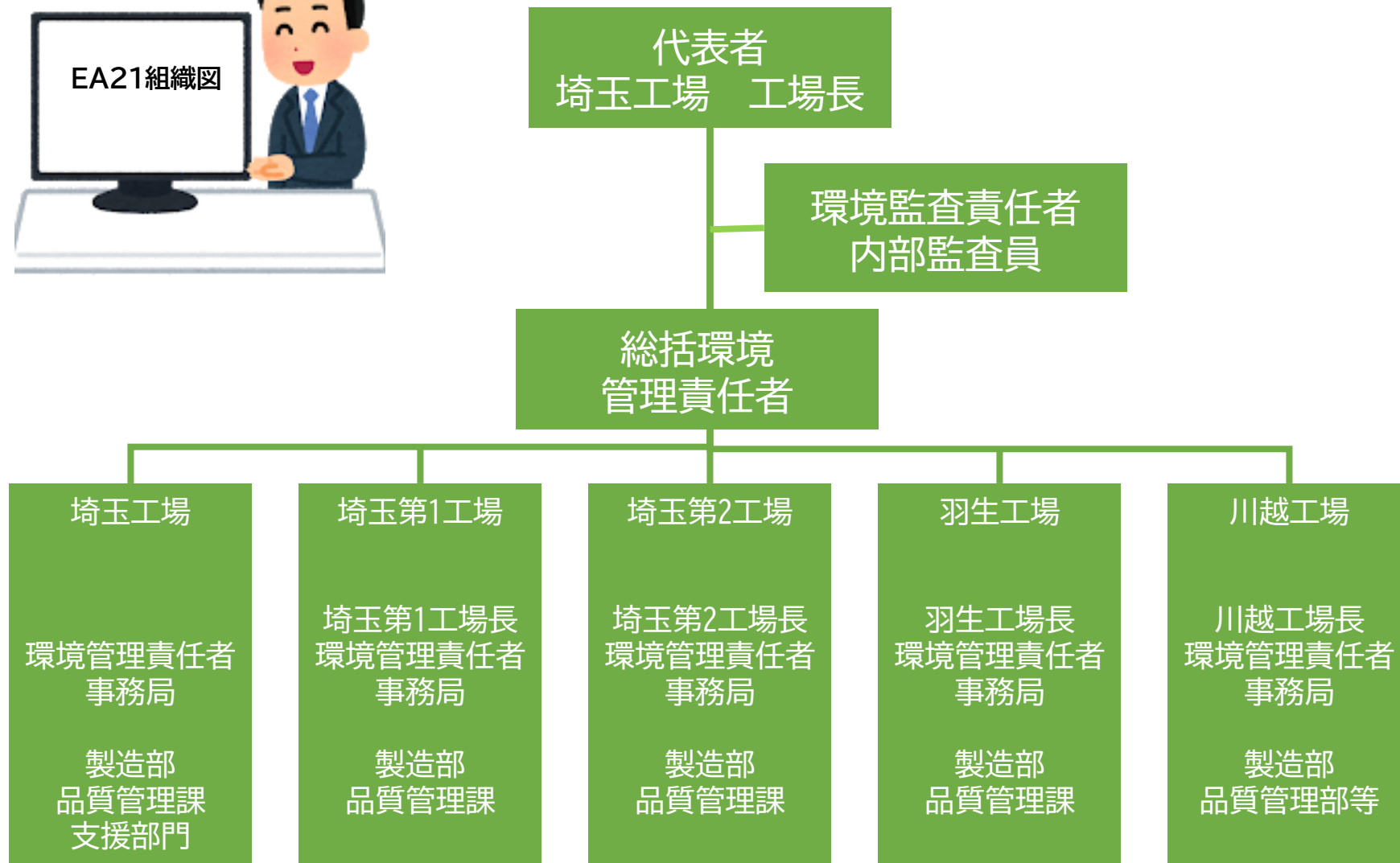


埼玉第1工場



事業所名	所在地	敷地面積 (㎡)	従業員数 (名) (2024年3月末現在)	製造している剤形
埼玉工場	埼玉県春日部市南栄町 2番地1	26,442	227	錠剤
埼玉第1工場	埼玉県春日部市南栄町 7番地5	5,075	168	錠剤
埼玉第2工場	埼玉県春日部市南栄町 8番地1	8,506	158	パップ剤、 錠剤（包装）
羽生工場	埼玉県羽生市大沼 2丁目54	16,680	219	テープ剤、 軟膏剤など
川越工場	埼玉県川越市大字 下赤坂字大野原685-1	4,338	76	錠剤

4. 実施体制と役割



責任者等	主な役割
代表者	・ 環境経営に関する総括責任 ・ 課題とチャンスの明確化の承認 ・ 環境経営方針の見直しの指示及び承認 ・ システム運用に必要な人、設備、費用、時間、技能及び技術者の準備 ・ 全体の評価と見直し（マネジメントレビュー）を実施 ・ 環境経営レポートの承認
サイトマネジャー	・ 環境活動評価記録書の確認 ・ 工場における環境経営に関する責任者
総括環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築 ・ 環境経営方針案の策定 ・ 課題とチャンスの明確化案の作成
環境管理責任者	・ 環境活動評価記録書の作成 ・ 環境関連法規制等順守評価記録書の確認
事務局	・ 環境関連法規等まとめ一覧表の作成 ・ 環境活動計画書の作成
内部監査責任者	・ 内部監査の責任者 ・ 内部監査の計画書作成
内部監査員	・ 内部監査チェックシートの作成 ・ 内部監査の実施

5. 目標、実績及び取り組み

1) CO₂排出量 (CO₂排出係数=0.441)

単位：t-CO₂

事業所	目標	実績	差 (実績-目標)	主な取組み	評価
埼玉工場	3,600	3,961	361	・LED切り替え ・不要照明消灯 ・ボイラー更新	×
埼玉第1工場	2,100	2,079	-21	・LED切り替え ・不要照明消灯 ・ボイラー室内バルブ保温強化	○
埼玉第2工場	2,619	2,756	103	・LED切り替え ・不要照明消灯	×
羽生工場	3,415	3,403	-12	・LED切り替え ・不要照明消灯 ・真空ポンプ運転時間削減	○
川越工場	575	561	-14	・LED切り替え ・不要照明消灯	○
合計	12,309	12,760	451	-	×

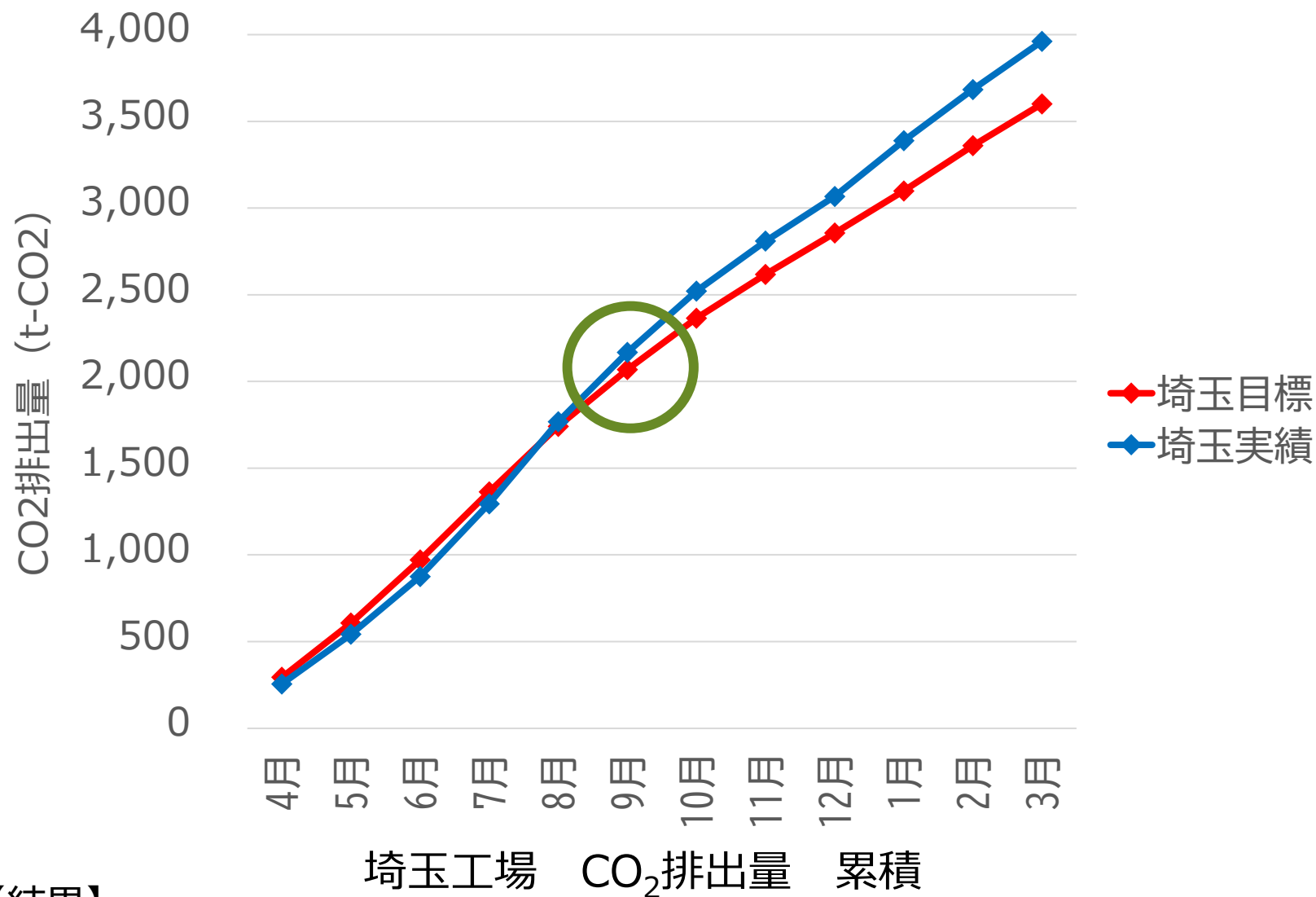
【結果】

○：差=0以下(目標を超えない)

×：差=1以上(目標を超える)

埼玉工場と埼玉第2工場は目標を超え、他の3工場は目標を超えていない。

埼玉エリア全体では目標を超え、特に埼玉工場の新棟稼働の影響が大きい(次頁参照)。



【結果】

7月から新棟の稼働が始まり9月以降の目標と実績の乖離が影響している。

2) CO₂排出量 総製造費用原単位 単位：t-CO₂/百万

事業所	2021年度	2022年度	2023年度
埼玉工場	1.14	1.03	1.06
埼玉第1工場	0.53	0.64	0.76
埼玉第2工場	0.66	0.86	1.06
羽生工場	0.68	0.65	0.75
川越工場	0.60	0.52	0.53
合計	3.61	3.70	4.16

【結果】

CO₂排出量の総製造費用原単位を上記に示した。

その結果、川越工場以外は前年度を超えた。埼玉エリア全体においても、前年度を超えた。

3) 一般廃棄物量

単位：t

事業所	目標	実績	差 (実績-目標)	主な取組み	評価
埼玉工場	19.2	23.8	4.6	・ペーパーレス推進 ・分別推進	×
埼玉第1工場	10.9	9.4	-1.5	・ペーパーレス推進 ・分別推進	○
埼玉第2工場	32.2	26.2	-6.0	・ペーパーレス推進 ・分別推進	○
羽生工場	4.8	3.6	-1.2	・ペーパーレス推進 ・分別推進	○
川越工場	3.0	3.6	0.6	・ペーパーレス推進 ・分別推進	×
合計	70.1	66.6	-3.5	-	○

○：差=0以下(目標を超えない)

×：差=1以上(目標を超える)

【結果】

埼玉工場と川越工場が目標を超えた。埼玉エリア全体においては、目標を超えていないため、概ね良好と考えられた。今後も取組みを継続して目標達成に努める。

4) 一般廃棄物量 総製造費用原単位

単位：kg/百万

事業所	2021年度	2022年度	2023年度
埼玉工場	5.05	5.51	6.65
埼玉第1工場	2.75	3.34	3.42
埼玉第2工場	7.35	10.61	10.08
羽生工場	0.91	0.93	0.79
川越工場	15.26	2.74	3.10
合計	31.32	23.13	24.05

【結果】

一般廃棄物量の総製造費用原単位を上記に示した。

その結果、埼玉工場、埼玉第1工場及び川越工場は前年度を超えた。埼玉エリア全体においても、前年度を超えている。

5) 産業廃棄物量 (産業廃棄物と特別管理産業廃棄物の合計)

単位：t

事業所	目標	実績	差 (実績-目標)	主な取組み	評価
埼玉工場	127.1	107.4	-19.7	・分別推進 ・リサイクル推進 ・試薬調製量削減	○
埼玉第1工場	31.2	42.6	11.4	・資材ロス削減 ・ロットアウト削減 ・ラボエラー削減	×
埼玉第2工場	323.6	278.7	-44.9	・資材ロス削減 ・リサイクル推進 ・検体廃棄量削減	○
羽生工場	448.5	453.9	5.4	・資材ロス削減 ・排水処理設備稼働管理 ・ガラス器具廃棄削減	×
川越工場	49.3	65.9	16.6	・資材ロス削減 ・有害試薬廃棄量削減	×
合計	979.7	948.4	-31.2	-	○

○：差=0以下(目標を超えない)

×：差=1以上(目標を超える)

【結果】

埼玉第1工場、羽生工場及び川越工場は目標を超えた。埼玉エリア全体においては目標を超えていないため、概ね良好と考えられた。

6) 産業廃棄物量 総製造費用原単位

単位：kg/百万

事業所	2021年度	2022年度	2023年度
埼玉工場	22.03	25.34	28.66
埼玉第1工場	15.60	16.01	15.51
埼玉第2工場	57.91	106.69	107.30
羽生工場	81.62	85.74	100.45
川越工場	57.03	44.09	57.48
合計	234.19	277.87	309.40

【結果】

産業廃棄物量の総製造費用原単位を上記に示した。

その結果、埼玉第1工場を除く全ての工場は前年度を超えた。埼玉エリア全体においても、前年度を超えている。

7) 水使用量

単位：千m³

事業所	目標	実績	差 (実績-目標)	主な取組み	評価
埼玉工場	44	30	-14	・節水啓蒙活動 ・シャワーノズル取付け	○
埼玉第1工場	13	14	1	・節水啓蒙活動 ・品目移管	×
埼玉第2工場	23	24	1	・節水啓蒙活動 ・器具洗淨時節水	×
羽生工場	36	35	-1	・漏水箇所修繕 ・器具洗淨時節水	○
川越工場	3	3	0	・洗淨時すすぎ時間短縮 ・器具洗淨時節水	○
合計	129	116	-13	-	○

○：差=0以下(目標を超えない)

×：差=1以上(目標を超える)

【結果】

埼玉第1工場と埼玉第2工場は目標を超えた。埼玉エリア全体においては、目標を超えていないため、概ね良好と考えられた。

8) 水使用量 総製造費用原単位

単位：m³/百万

事業所	2021年度	2022年度	2023年度
埼玉工場	10.96	12.77	8.10
埼玉第1工場	3.27	3.95	4.97
埼玉第2工場	6.26	7.51	9.09
羽生工場	7.85	6.81	7.74
川越工場	3.97	2.66	2.64
合計	32.31	33.71	32.54

【結果】

水使用量の総製造費用原単位を上記に示した。

その結果、埼玉第1工場、埼玉第2工場及び羽生工場は前年度を超えた。埼玉エリア全体においては、前年度を超えていない。

9)化学物質使用量

当社は医薬品製造業で様々な化学物質(原料や試薬)を取り扱っている。医薬品の製造や試験検査は国が承認した方法で行う必要があり、使用量を削減することができない。従って、削減対象外としている。



6. 中期目標

環境負荷項目における2024年度から2026年度の目標

事業所	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)			一般廃棄物量 (t)			産業廃棄物量 (t)			水使用量 (千m ³)		
	2024	2025	2026	2024	2025	2026	2024	2025	2026	2024	2025	2026
埼玉工場	3565	3208	2888	22	20	18	97	87	78	27	24	22
埼玉 第1工場	1871	1684	1516	9	8	7	38	35	31	22	19	17
埼玉 第2工場	2480	2232	2009	24	21	19	251	226	203	22	19	17
羽生工場	3063	2756	2481	3	3	3	408	368	331	32	28	26
川越工場	505	454	409	3	3	3	59	53	48	3	2	2
合計	11484	10336	9302	61	55	49	854	768	691	104	94	85

7. 法令順守の評価

主な法令	主な要求事項	結果				
		埼玉工場	埼玉第1工場	埼玉第2工場	羽生工場	川越工場
省エネ法	エネルギー使用量報告等	○	○	○	○	－
下水道法	排水水質モニタリング等	○	－	○	－	－
水質汚濁防止法	排水水質モニタリング等	○	○	○	○	○
廃棄物処理法	マニフェスト確認等	○	○	○	○	○
フロン排出抑制法	対象品点検等	○	○	○	○	○
PRTR法	対象物質使用量報告等	○	○	－	－	－
消防法	危険物保管状態確認等	○	○	○	○	○
毒物及び劇物取締法	対象物質保管状態確認等	○	○	○	○	○

○：対応済

－：該当なし

【結果】

埼玉第2工場において、水道法に従った貯水槽の清掃が行われていなかった。水道法に従った清掃を行い、環境関連法規等まとめ一覧表を改訂し、再発防止に努める。

8. 内部監査の実施



準備

- ・ 監査員がチェック項目作成
- ・ 被監査部署がチェック項目回答
- ・ 日程調整

ヒアリング

- ・ チェックシートをベースにヒアリング
- ・ ヒアリング内容を記録

結果

- ・ 実施報告書・是正依頼書作成
- ・ **良かった点も記載**
- ・ 是正報告書作成

報告

- ・ 実施報告書・是正依頼書を代表者に提出
- ・ 是正報告書を代表者に提出

チェックシート （記載例）

●年度 埼玉工場 目標		①～④ ●年度実績の▲１％
●年度 活動目標	活動項目	活動内容
	①電力削減	・ 不要な電源の見直し ・ 照明のLED化
	②都市ガス削減	・ ボイラー停止時間の見直し
	③水削減	・ 洗浄ホース形状の見直し
	④廃棄物削減	・ ペーパーレス化 ・ 分別推進

質問事項	回答欄	目標達成	判定
実施取組内容、評価（目標達成）について ※取り組んだ実施月や数値を記載	・ 生産設備が未稼働時には電源をOFFにした ・ 製剤課と包装課の６室の照明をLEDに変更した	△ △	C
実施取組内容の反省点について ※目標達成が「×」「△」の場合は記載	・ 空調24時間稼働や品目移管で電力削減は未達となった		C
上記反省点の対策について ※改善策を記載	・ 目標設定や評価方法の見直しが必要		C

目標達成 ○：数値目標を達成 △：活動を実施したが数値目標を達成できなかった ×：活動を実施しなかった

判定 A:重大な問題点 B:軽微な問題点 C:問題なし

実施結果一覧表

被監査部署	実施年月日	判定
埼玉工場 製造部	2023年9月28日	C
埼玉工場 品質管理課	2023年9月19日	C
埼玉第1工場 製造部	2023年10月6日	C
埼玉第1工場 品質管理課	2023年9月28日	C
埼玉第2工場 製造部	2023年10月3日	C
埼玉第2工場 品質管理課	2023年10月6日	C
羽生工場 製造部	2023年9月30日	C
羽生工場 品質管理課	2023年9月20日	C
川越工場 製造部	2023年9月5日	C
川越工場 品質管理課	2023年9月5日	C
埼玉工場 事務局・環境管理責任者	2023年9月12日	C
埼玉第1工場 事務局・環境管理責任者	2023年9月15日	C
埼玉第2工場 事務局・環境管理責任者	2023年10月6日	C
羽生工場 事務局・環境管理責任者	2023年9月15日	C
川越工場 事務局・環境管理責任者	2023年9月7日	C

【結果】 判定 A:重大な問題点 B:軽微な問題点 C:問題なし

上記に示した通り、全部署で問題を認めなった。

9. 代表者による評価と見直し

【インプット】

1. 取組み状況

①前回マネジメントレビュー結果に対する対応

1) 四半期毎の報告を確実に行う仕組みを構築すること

→工場内の共有はできていたが埼玉エリア間の共有はできなかった。
実施方法を検討して実施に努める。

2) カーボンニュートラルに関する勉強会を開催すること

→事務局のマンパワー不足で実施できなかった。
2024年度以降事務局の人員配置を変更し情報入手に努める。

3) 環境負荷項目は前年度－1%を達成できるよ活動を継続すること

→環境負荷の影響が大きいCO2排出量は埼玉エリア全体で目標を超えた。
埼玉工場の新棟稼働による影響が大きい。

②内部監査の結果

2023年9月5日から10月6日の期間に内部監査を行った。

その結果、全部署で問題を認めなかった。

③環境関連法規制等の順守状況

環境関連法規制等取りまとめ表を用いて順守評価を行った。

その結果、全工場で法令違反となる事案を認めなかった。

④問題点の是正処置及び予防処置状況

2023年度に是正対応が必要と判断した案件は8件で、4件はフォローアップまで終了している。残りの4件は是正計画に従い対応する予定である。

2. 目標の達成状況

- ①CO₂排出量
→9頁-11頁を参照
- ②廃棄物排出量
→12頁-15頁を参照
- ③水使用量
→16頁-17頁を参照

3. 周囲の変化の状況

法令の順守評価を「環境関連法規制等取りまとめ表」を用いて行った。
その結果、全工場法令違反となる事案を認めなかった。

【アウトプット】

- ①原単位の評価方法について見直しを検討すること。
- ②環境負荷項目は前年度－1%を達成できるよう活動を継続すること。
- ③埼玉エリアの埼玉県温暖化ガス取引制度対応を進めること。
- ④構内LED交換に関する動きに注視すること。